

2026.
4.28^火 ~
5.31^日

企画展

Pyrography: Brown
Strange Things



焼
絵
つ
て
、
なん
だ
?

茶
色
の
珍
事

中之島香雪美術館
Nakanoshima Kosetsu Museum of Art

◎休館日:月曜日、5月7日 ※ただし、5月4日(月・祝)は開館
◎開館時間:10時~17時(入館は16時30分まで)
◎主催:毎日新聞社、公益財団法人香雪美術館、朝日新聞社
◎協力:板橋区立美術館

[夜間特別開館]
開催日:2026年5月1日(金)、15日(金)、29日(金)
時 間:10時~19時30分(入館は19時まで)

晴山「虎図」(部分) 江戸時代(18~19世紀) 彌記繪菴蔵

日本初!

焼絵作品
約100点を展示

「焼絵」とは、

火筆画や焦画、烙画などとも呼ばれる、熱した火箸や鏝を紙や絹などに押し当て、絵画や文字を焦がして表現する技法を用いた作品です。

色調は茶から黒に近い色まで展開し、また線描から点描、濃淡といった

水墨画の技法も巧みに再現されています。江戸時代には、優れた焼絵を数多く手掛けた

稲垣如蘭こと近江山上藩(現在の滋賀県近江江市)の第五代藩主稲垣定淳(1762~1832)をはじめ、

藩主や家老クラスの間でこの技法が流行しました。

少ない材料で制作可能な点から、根底には質素儉約を推奨する

時世を反映しているとも推測されます。一方、葛飾北斎の弟子とされる

北鼎如連(生涯不睦)のような

浮世絵師にも焼絵の名手が現れ、さらには狩野派の特徴を有する作例も確認されています。

技法の特殊さから作例は多くありませんが、一部の間では試みられていた様子がうかがえます。

また、大田南畝と来舶した

中国人との間で焼絵談議が行われ、朝鮮通信使を介し烙画が紹介されるなど、

焼絵を通じた国際交流も行われました。本展では、これまでほとんど

紹介されることのなかった焼絵について、日本をはじめ朝鮮と中国、現代の焼絵作品を展覧し、

その美と制作背景を探ります。

恋川白峨「竹虎図」(部分)
江戸時代(19世紀)
彌記繪電蔵

作者不詳「花鳥図」(部分)
朝鮮時代
個人蔵

講演会のお申し込みはこちら▶▶▶

記念講演会

「朝鮮通信使も見た日本の焼絵」
講師：片山真理子氏(東京藝術大学古美術研究施設助教)
日時：5月16日(土) 14時~15時30分
会場：中之島美術館(中之島香雪美術館隣)
参加料：500円(展覧会観覧には別途入館料が必要)
定員：280名(事前申し込み・先着順)
受付開始：2026年2月15日(日)

ギャラリートーク

5月1日(金)、
15日(金)、29日(金)
いずれも17時より30分程度

こども無料DAY

5月5日(火・祝)
小学生から大学生まで
入館無料!(保護者は有料です)
※学生証をご提示ください。

蘭旭「梅鶴図」(部分)
安政3年(1856)
彌記繪電蔵

ほごり。

如秀「亀図」(部分)
江戸時代
(18~19世紀)
彌記繪電蔵

如峨「亀図」(部分)
江戸時代(18~19世紀)
彌記繪電蔵

恋川白峨「達磨図」(部分)
江戸時代(19世紀)
彌記繪電蔵

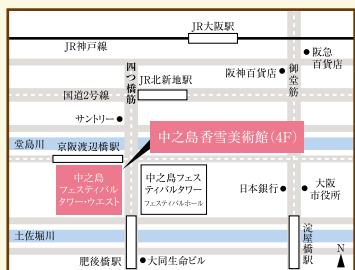
北鼎如連「竹虎図」(部分)
江戸時代(19世紀)
村上コレクション蔵

入館料

一般1,600(1,400)円、高大生800(600)円、小中生400(200)円

※()内は前売り・20名以上の団体料金

前売り券は2026年2月1日から2026年4月27日まで、中之島香雪美術館、フェスティバルホール・チケットセンター、主要プレイガイド、コンビニエンスストア、公式HP(オンラインチケット)で販売します。



中之島 香雪美術館

Nakanoshima Kosetsu Museum of Art

〒530-0005 大阪市北区中之島3-2-4
中之島フェスティバルタワー・ウエスト4階
TEL:06-6210-3766

◎Osaka Metro四つ橋線「肥後橋」駅4号出口、京阪中之島線「渡辺橋」駅12号出口直結◎JR「大阪」駅桜橋口より徒歩約15分◎Osaka Metro御堂筋線・京阪本線「淀屋橋」駅7号出口より徒歩約8分◎JR東西線「北新地」駅11-5出口より徒歩約8分



次回の展覧会

特別展「巨大インコがやって来た!川上和歌子×香雪美術館コレクション(仮)」展
2026年6月27日~8月30日